

神経系疾患分野

前頭縫合早期癒合症（三角頭蓋）

1. 概要

前頭縫合早期癒合症（三角頭蓋）の中に、多動傾向や運動機能障害、精神運動発達遅滞を呈する症例が存在する事が知られてきている。前頭縫合早期癒合症の中に1歳以降言葉の発達遅滞などを主徴とする広汎性発達障害を呈する例が多く、頭蓋減圧術によってそれらの症状が改善する見込みがあることが示されている。

2. 疫学

現時点では疫学調査は行われておらず、正確な有病率は不明である。

3. 原因

何らかの原因により前頭縫合が早期に癒合し、形態学上三角頭蓋を呈し、前頭葉の機能障害による多彩な神経学的症状を生ずると考えられるが、前頭縫合早期癒合の原因と神経学的症状の発現の真の原因は不明である。

4. 症状

言語遅滞、多動、自閉傾向、運動遅滞、自傷行為、睡眠障害、パニックと頭痛や嘔吐などの頭蓋内圧亢進症状

5. 合併症

自傷行為による頭部外傷、転倒による骨折など。

6. 治療法

減圧的頭蓋形成術が有効であるとの報告がある。

7. 研究班

前頭縫合早期癒合症の病因・病態と診断・治療に関する研究